

平成31年3月31日

(あて先) 熊本市長

団体名 NPO法人ガット
代表者 職名 代表 氏名 西村 るり



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成31年2月4日付け指令(地活)第95号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付
変更等決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の
規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

スタートアップ助成

熊本市立小・中学校の学校図書館リニューアル事業

2 助成事業の実施期間

平成30年 5月 1日 ～ 平成31年 3月 31日

3 助成事業の内容

熊本市内の小・中学校の司書、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し、希望校を募った。実施校を決定し、視察を行い、実施校の課題を把握し、改善内容と方法を考えた。改善案の計画を立て、準備をした。その計画に基づき、夏休み中に2校、リニューアル作業を行った。飽田西小学校は視察1日、作業3日、壺川小学校は視察1日、作業4日だった。

3学期にリニューアルを行った壺川小学校学校図書館で、全国学校図書館協議会事務局長を招き、熊本市立小・中学校の図書館関係者を募って、学校図書館活性化に向けた講習会を開催した。その後、事業のまとめとして、広報誌やホームページに事業の成果を広報した。

4 事業の成果

学校図書館リニューアルを行った学校の子どもたちは夏休み明けの図書館に入るなり、「ひろーい。きれーい。すげー。」と叫んだそう。先生方も次々に、図書館を見に来られ、口々に驚きの声を上げられたそうである。来館者が増えたのは言うまでもない。学校の子どもたちや先生方から喜んでいただき私たちもやりがいを感じた。

壺川小学校の講習会も学校図書館活性化に向けて、大変ためになる会だったと参加者の皆様から感謝された。これからも、子どもたちの一番身近な図書館を充実させ、子どもたちの健全育成に少しでもお役に立てるよう努力したいと改めて思う成果となった。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

※交付決定の記入については、以下のいずれかを記入してください。

（変更申請をしていない場合）

平成30年4月1日付けで通知された助成金交付決定通知書の指令番号等

（変更申請をした場合）

変更申請後に通知された助成金交付変更等決定通知書の指令番号等

事業報告書

実施年度	30 年度
事業名	熊本市立小・中学校の学校図書館リニューアル事業
事業期間	30 年 5 月 1 日 ～ 31 年 3 月 31 日
事業の目的	子供たちの豊かな心の育成のために、読書が大きな役割を担っている。学校現場で子供たちを目の前にしている私たちは、読書が子供達にもたらす効果を実感している。学校図書館は、子供たちにとって読書の森であり知識の泉となる。しかし、実際には学校図書館が本来の役割を果たせていない場合が少なくない。それは、学校図書館を整える時間が取れなかったり、うまく機能させるためのスキルが活かされていなかったりするためである。私たちは学校図書館に関わる仕事に長く従事してきた。その経験を生かして魅力的な学校図書館づくりをしたいと考えている。学校図書館が活性化し、子供たちはますます読書に親しみながら心を育み、本で学びを深めることができるだろう。子供たちが集まる楽しい学校図書館づくりをすることは、子供たちの健全な育成のための一助となると考えている。
具体的な 事業内容	熊本市内の小・中学校の司書(司書補助員)、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し、希望校を募る。これに応募した熊本市立飽田西小学校と壺川小学校の図書館に訪問した。視察をして実施校の課題をとらえ、改善内容と方法について決めた。改善に向けての計画を立て、実施校でできることと私たちが作業する内容を分けて準備を整えた。実際の作業は3日と4日だった。リニューアルが済んだあと、壺川小学校をお借りして他校の図書館担当者へも呼びかけて、リニューアルのポイントや改善の方法等を伝えたり、全国学校図書館協議会事務局長を講師として招き、図書館の効果的な活用法等についての学習会をする。そして、事業報告を広報誌やホームページで紹介し、次年度へつなぐ。 1 各小中学校へ学校図書館のリニューアル事業のお知らせをする。(5～6月) 事業案内チラシ郵送 2 実施校の視察・課題検討会→準備→作業(6～8月) 3 学校図書館の改善の工夫・図書館の効果的な活用法等についての学習会(2月) 4 本事業のまとめ(広報誌・ホームページ)(9～3月)
実施場所	熊本市立飽田西小学校・熊本市立壺川小学校
事業の効果 ・公益性	当事業を通して、学校図書館が使いやすく魅力的なものとなり、子供達が親しみをもって図書館を利用することで読書への関心も高まっていくと考える。また、学校図書館に関わる学校職員の意識向上により、子供たちへの読書指導がより充実していくと思われる。さらにリニューアル後の学習会をもつことによって、学校間のつながりができるだろう。各学校の取組みを紹介したり、共有したりできるようにし、より一層児童生徒の学校図書館利用が活発になっていくことが予想できる。
次年度以降の 事業展望	私たちはスタッフの多くが現役の教職員であるので、本事業は休日を利用して行う。特にリニューアルのための作業は連続した期間を要するため、夏季休業中の休暇を活用した。そのため、本事業を実施できた学校は、2校であった。しかし、この活動を継続していくことにより、熊本市の学校図書館が活性化し、子供たちがもっと読書に親しむことができるようになるだろう。メンバーの退職後はさらに活動を広げることができるので、学校図書館だけでなく、公民館や児童館などともつながり、それぞれの良さを共有できるようにしていきたい。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	本事業は子供たちが集まる学校図書館づくりであり、そこに集まる子供達を中心に人と人とのつながる大切な場をつくることでもある。近年、学校図書館は教室に入れない子供たちの癒しの場としても活用されている。また、読み聞かせボランティアの方々やお話会の方々のご協力によって、読書が苦手な子供達も読書体験ができ、読書の楽しさを味わうことができている。本から勇気や元気をもらっている子供達がいる。読書離れが叫ばれている昨今ではあるが、学校図書館に携わる人や地域のボランティアの人やお話会の方々との連携により、本で人がつながる町づくりを目指したい。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	0円	会費
		0円	当該事業による収益
		24,238円	その他の自己資金
		0円	寄附金・協賛金
	市民公益活動支援助成金	100,000円	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金		
	計	124,238円	
支 出	助成対象経費	人件費	21,000円 スタッフ人件費 ¥500×6人×7日
		報償費	15,000円 講師謝礼(交通費含む) ¥15,000
		役務費	10,824円 郵便 ¥82×132校
		使用料・賃借料	0円
		事務費	5,616円 チラシ印刷費 ¥2,128+3,488
		旅費	30,000円 読書活動を学ぶ会講師旅費 ¥30,000
		委託費	0円
		その他	41,798円 材料費 ¥7,956+7,962+9,504+12,806+2,490+1,080
		小計	124,238円
	助成対象外経費		0円
		小計	0円
	計	124,238円	